

担当医

非小細胞肺癌に対する

カルボプラチン + パクリタキセル(アルブミン懸濁型)併用療法

CBDCA + nab-PTX コース目

カルボプラチン(CBDCA)	AUC 6(Day1)	
パクリタキセル(アルブミン懸濁型)	100mg/m ² (Day1,8,15)	3週毎

身長	cm	体重	kg	体表面積	m ²	Cr	mg/dl
						(Ccr	ml/min)

Ccr(Cockcroft-Gault) = 体重(kg) x (140-年齢) / 72x Cr(mg/dl)
 女性は0.85倍 Cr(日本での酵素法ではCr+0.2で計算する方がよい)
 CBDCA dose(mg/body) = AUC x (Ccr +25)

Day 1

(/)

- ① 生食 100ml / ルートキープ
- ② グラニセトロンバッグ(1mg/50ml) 1P
+ デキサート(6.6mg/2ml) 1V 30分でDiv
- ③ 生理食塩液 50ml 全開(フラッシュ)

Y ④ パクリタキセル(アルブミン懸濁型)()mg/body
+ 生食50ml 30分でDiv

Y ⑤ 生理食塩液 50ml 全開(フラッシュ)
Y字から投与, バッグアダプタ使用

Y ⑥ カルボプラチン()mg/body + 生食250ml 60分でDiv

⑦ 生食 100ml 30分でDiv

Day 8

(/)

- ① 生食 100ml / ルートキープ
- ② グラニセトロンバッグ(1mg/50ml) 1P 30分でDiv
- ③ 生理食塩液 50ml 全開(フラッシュ)

Y ④ パクリタキセル(アルブミン懸濁型)()mg/body
+ 生食50ml 30分でDiv

Y ⑤ 生食 100ml 30分でDiv
Y字から投与, バッグアダプタ使用

- Day 15 (/)
- ① 生食 100ml / ルートキープ
 - ② グラニセトロンバッグ(1mg/50ml) 1P 30分でDiv
 - ③ 生理食塩液 50ml 全開(フラッシュ)
 - Y ④

パクリタキセル(アルブミン懸濁型)()mg/body + 生食50ml 30分でDiv

 - Y ⑤ 生食 100ml 30分でDiv
 Y字から投与, バッグアダプタ使用

調製方法

※1バイアルあたり生理食塩液20mlが必要。

- 1) 1バイアルあたり生理食塩液20mlを、バイアルの内壁伝いに、直接内容物にかけないよう泡立ちに注意しながらゆっくりと注入する。
- 2) 内容物が確実に濡れるよう5分間以上バイアルを静置する。
- 3) 生理食塩液のバッグから残液を廃棄し、空のバッグを作る。
- 4) 内容物が十分に濡れたら、均一な白色ないし黄色の懸濁液になるまで、泡立たないよう混和する。
- 5) 必要量をバイアルから抜き取り、3)で用意した空のバッグにゆっくりと注入する。

※パクリタキセル(アルブミン懸濁型)は特定生物由来製品です。そのため、「輸血用血液製剤及び血漿分画製剤使用承諾書(特定生物由来製品使用承諾書)」による患者の承諾が必要です。